

常任委員会報告

総務民生常任委員会

(6月13日開催)

・子ども生活応援事業

(得きっずカード)

510万8千円

1. 調査事項

(1) 乳幼児等医療費助成の拡大について

現行では中学生の医療費助成の範囲を入院及び指定訪問看護に限定していたが、平成23年8月1日受診分から入院外、歯科、調剤等の保険適用自己負担の全額を助成する。

・医療費助成増加見込額

113万2千円増

(2) 子育て支援政策の概要について

・子ども夢基金積立金

積立金原資2億円

・乳幼児等医療費助成事業

1,988万7千円

・子育て支援アドバイザー設置事業

87万7千円

・新十津川保育園保育料の軽減

7月から実施

・新十津川保育園周辺整備事業

840万円

2. 報告事項

(1) 児童館、子育て支援センターの運営状況について

【児童館】

・年間利用者

延べ1万8,127人

・開館日数

355日

・一日平均利用者数

51人

【子育て支援センター】

・年間利用者

延べ6,047人

・発育等相談件数

55件

・地域巡回子育て支援センターの実施(3地区、年3回)

(2) 新十津川町国民健康保険税の税率について

平成23年4月における所得割課税基礎額は22年度比較で

16・77%減、資産割課税基礎額は同1.4%減であり、現行税率等で試算すると23年度当初

予算における現年度課税分で6,419万3千円不足する。国民健康保険事業の適切な運営を図るため、税率を平均でおよそ26%引き上げる。

(3) 地域公共交通の状況について

乗り合いタクシー方式が好反応。福祉バスや医療送迎バスとの併用を促進する。また、バス路線空白地域の解消や総進線が乗り合いタクシーで直接滝川市内に乗り入れが可能となるよう検討を重ねる。

が経過し、老朽化による損傷、維持管理費が増嵩している。また、中学校の武道必修化により使用頻度が増すことが予測される。

・建設予定場所 図書館南側

・機能・規模・構造

・剣道場、会議室、管理室、用具室、トイレ、給湯室などで鉄骨造平屋建て700㎡

・事業制度

・文科科学省学校施設環境改善交付金を活用

・管理運営 学校管理施設

(少年団、一般利用は学校開放事業にて活用)

・概算事業費(実施設計費含む)

約2億円

・特定財源 文科科学省交付金及び過疎債の充当予定

・年次計画

平成23年度 実施設計

平成24年度 本体工事

平成25年度 旧施設解体

(2) 平成23年度作物作付面積について

・対象水田認定面積

4,324・09 ha

・水稲作付面積

3,578・04 ha

・転作面積

743・44 ha

・主な転作作付面積

大豆

94・25 ha

そば

267・28 ha

秋小麦

82・77 ha

春小麦

25・75 ha

(3) 農産物ブランド化事業について

【平成23年度事業計画】

・アンテナショップへの出張

・地元食材料理コンテスト

・農商工連携座談会の開催

・ブランド化推進活動助成

・ブランド産品推奨事業

(4) (仮称) 農業振興公社の設立について

農業振興公社設立に向け、素案を作成する専属職員の配置も視野にいれ、農業振興公社設立準備室を設置する。

経済文教常任委員会

(6月14日開催)

1. 調査事項

(1) 武道場の建設について

【現施設の概況】

・建設 昭和48年11月

・構造 木造モルタル平屋

・面積 454・50㎡

・建設費 1,983万円

・管理 新十津川尚武会へ指定管理(平成24年3月まで)

【改築計画の概況】

・改築理由 建設後約40年

2. 報告事項

(1) 小学校耐震・大規模改修工事について

11月30日工期に向けて順調に進捗中。以前使用していた焼却炉の一部にアスベストがあり、夏休み中撤去する予定。